

未来につながる 梅づくり



ベーベ(Bee Bee)

みなべと田辺の
梅のみつがだいすきな
ニホンミツバチ。



こんにちは! ベーベです。

みんなが「みなべ・田辺の梅システム」
について勉強するって聞いて、飛ん
できちゃったよ。よろしくね。

「みなべ・田辺の梅システム」 って何だろう?

梅の木を育てるだけではなく、
生き物や植物がかかわり合う中で梅
を生産してきた農業のしくみを「みなべ・
田辺の梅システム」といいます。これは、
400年前から受けつがれています。



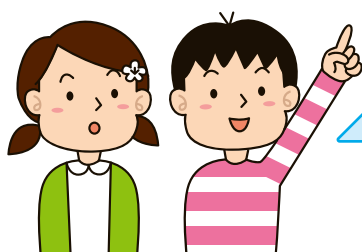
世界農業遺産に 認定されるまで

昔から伝わる世界的にもすばらしい農業
文化が、世界農業遺産としてみとめられ
ています。「みなべ・田辺の梅システム」
も、ゆたかな自然と人々の努力によって、
世界農業遺産にみとめられました。



このマーク知ってる?

「みなべ・田辺の梅システム」の
マークは、世界農業遺産にみとめ
られたことをたくさんの人に分か
りやすく伝えています。



あれ? マークの中に
梅の花とミツバチの
絵があるよ。

気がついた? 次のページ
からくわしく説明するね。



みなべ・田辺地域は 梅の一大産地

和歌山県は、梅さいばいにてきたあたたかい気^き温と土^{おん}があり、しゅうかく量^{りょう}は全国の65% (57,500t) にもものぼります。また、炭^{すみ}づくりは、山^{まも}を守ることにもつながっています。

和歌山県は
梅のしゅうかく量日本一!

しゅうかく量 **57,500t**
さいばいめんざき面積 **5,390ha**

そのうちの
84% (48,500t) が
みなべ・田辺地域で
つくられています。

(2019年現在)



もくじ

おりこみページ

「みなべ・田辺の梅システム」って何だろう?

世界農業遺産に認定されるまで

「みなべ・田辺の梅システム」のしくみを知ろう!

みなべ・田辺地域は梅の一大産地 1

里山

●山を育てる炭づくりについて知ろう 2

梅林

●ミツバチによる梅の育て方について知ろう 4

●きずをつけない梅のしゅうかく方法について知ろう 6

ため池

●みなべ・田辺地域の生き物たちについて知ろう 8

里地

●さまざまな梅の産業について知ろう 10

●みなべ・田辺地域の農作物について知ろう 12

つたえよう

●梅のすばらしさを広める活動について知ろう 14

「みなべ・田辺の梅システム」地域資源マップ 16



校外学習のポイント



●調べたい内ようをはじめに決めよう

どんなことを調べるのか、考えておこう。

●道具を用意しよう

ノートやえんぴつなど、必要なものを

一人ずつ用意しよう。

●きちんとメモをとろう

文字以外にも、写真やイラストも
後から役にたつよ。

●お話を聞いたらお礼を言おう

お礼をわすれず、ぎょうぎよくしよう。

里山

梅林

ため池

里地

伝えよう

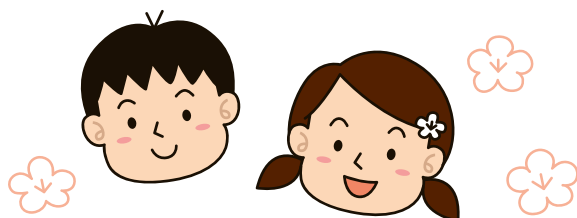
「みなべ・田辺の梅システム」 のしくみを知ろう！



400年以上も前から続くシステムです。
薪炭林を残すなど、ゆたかな自然を守り
ながら品しつ^{のこ}のよい梅を生産^{せいさん}しています。

自然と人がつながって
いることが大切
なんだね。





みんなにやさしい のうぎょう 農業のしくみ

里山

炭をつくる仕事をして
山を守っているよ



炭となる林を育てると、地面に栄養や水分が
ふくまれ、山が元気になります。

ミツバチが受粉を
手伝って梅の実がなるよ



梅の実がなるには受粉が必要です。数が多
くて大変な作業をハチがおこなっています。

さまざまな生き物や
農作物があるね



さまざまな生き物や農作物が育つ、ゆたか
な自然かんきょうがあります。

里地

梅のしゅうかく後の加工も
農家がしているよ



しゅうかくして天日干しする作業までを農家
がおこなって、加工業者が味つけしています。

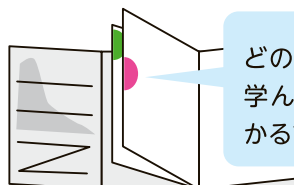


山が多くて平地が少なく、土に栄
養も少なかったみなべ・田辺地域
で、品しつのよい梅をつくること
ができたのは、人の手によって自
然かんきょうを守りながら、自然
の中で農業をするなど、おたがい
にやさしい農業のしくみがあった
からです。

上の図は、梅システムの流れです。
学習の内ようと合わせて注目し
てみてね。

この本の使い方

左のページを開いたまま使うと「みなべ・田辺
の梅システム」のしくみがよく分かるよ。



どの部分について
学んでいるかが分
かるマークつき